

# 現代日本の宗教建築の設計論にみる建築家の創作を通じた歴史観

Recognition of Architectural History in Contemporary Design Theories on Japanese Religious Architecture

奥山研究室 22M50650 渡邊 修 (WATANABE, Osamu)

**1. 序** 宗教建築は建築史の中で重要な位置を占め、建築家はその設計において建築の歴史に関する解釈が求められてきた。例えば、伊東忠太は築地本願寺の設計において、地域・宗教的枠組みを超えて様々な様式を折衷させ、寺院建築の規範的な歴史観を相対化した<sup>1)</sup>。宗教政策の転換がなされた戦後も、丹下健三が東京カテドラルマリア大聖堂において、中世ヨーロッパ教会建築を引用し、現代の社会・技術的状況下で、教会建築の歴史的文脈に自作を位置付けることを試みた。このように、宗教建築の設計論からは建築の歴史に関する事柄への解釈を読み取ることができ、それらは歴史との関係から建築作品を捉えるという点において、建築意匠上の重要な視座を与えるものと考えられる。そこで本研究では、現代日本の宗教建築の設計論<sup>2)</sup>の内容を比較検討することで、建築家の創作を通じた歴史観の一端を明らかにすることを目的とする。

## 2. 歴史観を構成する言及対象と着目内容

資料とした設計論からは、例えば図1のno.118のように「日本の伝統的木造建築」の木組みに着目していることが読み取れる。そこで、本章では建築家が設計に際して参照した建築あるいは宗教に関する歴史的事物を言及対象とし、また言及対象のどの側面に着目しているかを着目内容として検討する。

**2.1 建築の歴史に関する言及対象の内容** まず、資料から抽出した言及対象の内容を整理した(図2)。建築に

関する事柄については、特定の建築、不特定の建築の2つに大別し、また宗教に関する事象は、宗教施設において前提となる宗教的な概念に関する歴史観を構成する要素の一つとして捉えた。その結果、不特定の建築が顕著に多くみられ、なかでも、特定の時代・地域の宗教建築や、建築の形式や類型などに言及するものが多くみられた。

**2.2 言及対象の着目内容** 次に、言及対象の着目内容を検討した。対象の即物的な形状や装飾などの〈実体的内容〉、構法や形式に関する〈構築的内容〉、対象での空間体験に関する〈体験的内容〉、対象の性質や役割に関する〈意味的内容〉の4つに分類した(図3)。

## 3. 言及対象の文脈と文脈の構造形式

**3.1 言及対象が語られる文脈** 本章では、言及対象が位置付けられる文脈を検討する。図1のno.118では、「日本の伝統木造建築」の木組みの代表例として「東大寺南大門、浄土寺浄土堂」を取り上げ、それらが寺院建築の文脈ではなく、日本建築の歴史的枠組みのなかで参照されていることが読み取れる。このような対象が位置付けられている枠組みを、言及対象が語られる文脈として抽出し、《教会建築》、《寺院建築》、また宗教建築以外の《建築一般》に分類した(図4)。

**3.2 文脈の構造形式** 次に、資料単位ごとに作品と文脈の関係性を作品の文脈の構造形式とし、言及対象の数と併せて検討した(図5)。作品の宗教と同一の宗教的文脈に言及対象が位置付く【文脈一致型】と、作品の宗

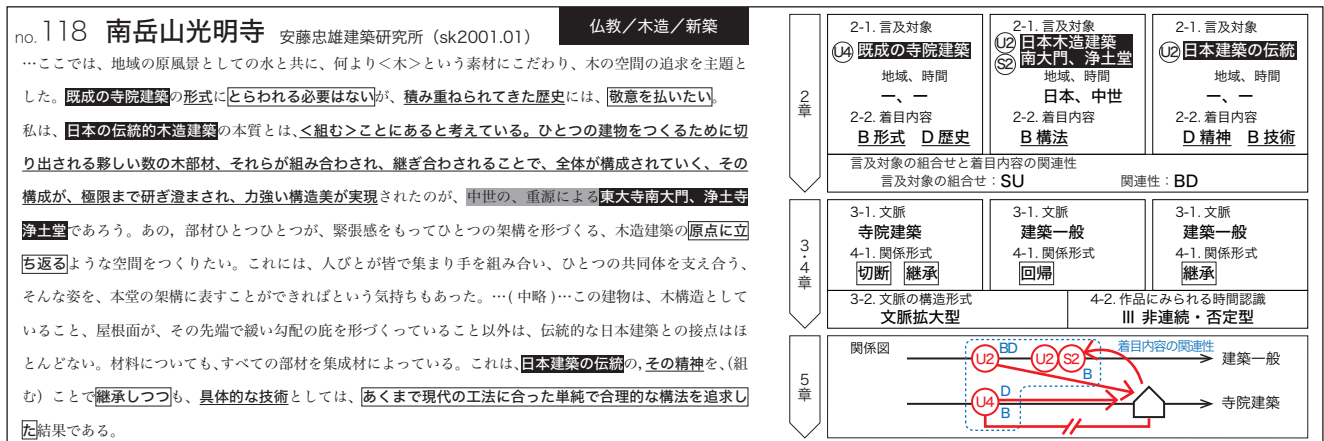


図1. 分析例

教と異なる宗教、あるいは建築一般の文脈に言及対象が位置付く【文脈拡大型】の2つに分類した。また、前者については、言及対象が1つの【文脈一致・単数型】、2つ以上の【文脈一致・複数型】に分けて捉えた。その結果、仏教に比べてキリスト教の作品では、3つ以上の言及対象をもつ【文脈一致・複数型】の割合が比較的高くみられた。また【文脈拡大型】のうち、言及対象が建築一般の文脈にのみ位置付くものや、他宗教の建築の文脈に位置付く言及対象を取り上げるものが仏教のみみられ、寺院建築では特に宗教の枠組を超えた折衷が試みられていると考えられる。

#### 4. 言及対象の関係形式と作品の時間認識

**4.1 言及対象に対する関係形式** ここでは作品と言及対象の関係性を言及対象に対する時間的連続性と価値評価という観点から検討する。例えば図1のno.118では、「日本の伝統的木造建築」という言及対象に加え、「原点に立ち返るような空間を作りたい」と述べており、作品との時間的連続性が途切れた言及対象に対する肯定的な評価が読み取れる。そこで言及対象に対する関係形式を、時間的連続性があり肯定的な評価をする[継承]、時間的連続性がなく肯定的な評価をする[回帰]、時間的連続性がなく否定的な評価をする[切断]の3つで捉えた(図6左)。

**4.2 作品にみられる時間認識** 前節で整理した言及対象に対する関係形式の資料単位での組合せを作品にみられる時間認識とし、整理した(図6右)。時間的連続性がある関係形式のみで構成される[I連続型]、非連続的な関係形式をもち肯定的な評価のみで構成される[II非連続・肯定型]、非連続的な関係形式をもち否定的な評価を含む[III非連続・否定型]の3つに分類した(以下I、II、III)。

#### 5. 建築家の創作を通じた歴史観

##### 5.1 文脈の構造形式と時間認識の通時的変化

資料ごとに文脈の構造形式と作品にみられる時間認識について通時的変化を検討した(図7)。まず、文脈の構造形式についてみると、1980年代にかけて【文脈一致・単数型】が減少し、その後増加している。これは建築家が様々な文脈の言及対象を多数おり混ぜながら作品を歴史に位置付ける姿勢の増加の表れであり、ポストモダニズムの潮流を反映した傾向だと考えられる。また作品にみられる時間認識については、IIIの割合が漸次的に減少している。これは、戦後直後は、戦時中のナショナリズム

110	特定の建築	① 教会建築 17	② 仏教建築 19	③ 旧、既存建築物 63
		④ その他の建築 11		
369 259	不特定の建築	① 特定の時代、地域の宗教建築 75	② 宗教建築以外 30	③ 形式、類型 120
		④ 建築要素 34		
62	宗教	宗教的事物 19	教義、經典 29	人物 14

図2. 言及対象の内容 (赤: 日本、緑: 東洋、青: 西洋)

A 実体的内容 形、装飾など 160	B 構造的な内容 形式、構法、技術など 149	C 体験的内容 光、音、質感、儀式など 74	D 意味的内容 性質、役割、イメージなど 123
-----------------------	----------------------------	---------------------------	-----------------------------

図3. 言及対象の着目内容

文脈	具体例
教会建築 教会建築の文脈に位置付くもの 165	no.135 聖学院大学礼拝堂 / 講堂 / 香山壽夫建築研究所 [注] 聖学院は、...人びとが共に集う空間である。そして、その空間の中心にあるものは、主の最後の晩餐がなされた食卓である。それを囲む人の輪が何重にも重なって広がるかたちは、初期のキリスト教に、教会の伝統である。
寺院建築 寺院建築の文脈に位置付くもの 198	no.24 成田山新勝寺大本堂 / 吉田五十八 近代の寺院建築には、ふたつの流れがある。ひとつはいわゆる新興宗教的の寺院。ひとつは昔ながらの[拮据]建築の寺院である。...また古代からの寺院はいわゆる[拮据]建築で、千数百年前の法隆寺の時代の型から、1歩も出ていないのである。
建築一般 宗教建築以外の建築一般の文脈に位置付くもの 68	no.118 南岳山光明寺 / 安藤忠雄建築研究所 私は、日本の伝統的木造建築の本質とは、<組む>ことにあると考えている。...その構成が、極限まで研ぎ澄まされ、力強い構造美が実現されたのが、中世の、重源による東大寺南大門、浄土寺浄土堂であろう。

図4. 言及対象が語られる文脈

文脈の構造形式	言及対象の数	関係図	作品の宗教の種類
単数	1	○—△→	仏教 104 / キリスト教 66
文脈一致型	単数	○—△→ 作品の宗教建築の種類と同一の文脈内に一つ言及対象が位置付くもの 47	31 / 16
	複数	○—△→ 作品の宗教建築の種類と同一の文脈内に複数言及対象が位置付くもの 76	2コ 31 / 2コ 42 / 3コ以上 34
文脈拡大型	単数	○—△→ 作品の宗教建築の種類と異なる文脈にも言及対象が位置付くもの 47	31 / 16
	複数	○—△→ 作品の宗教建築の種類と異なる文脈にも言及対象が位置付くもの 47	31 / 16

図5. 文脈の構造形式

ム的な宗教観への反省や近代主義的な思想による過去からの切断を志向する傾向から、次第に建築家の多様な歴史への解釈が増えたことを反映していると考えられる。

**5.2 建築家の創作を通じた歴史観** 図1右下のように、言及対象とそれに対する着目内容、文脈、関係形式を資料単位ごとにまとめ、関係図を作成した。また、宗教建築における建築家の創作を通じた歴史観について、3章で捉えた文脈の構造形式と4章で捉えた作品にみられる時間認識の関係から、各資料を位置付けた(図8)。さらに、1つの資料に言及対象が複数取り上げられる場合は、言及対象同士の関連を把握するため、資料単位ごとに着目内容の一致した項目を列挙し(図8凡例参照)、関係図においては点線で明示した。

まず、全体の特徴として、【文脈一致・単数型】ではIの割合が高く、【文脈一致・複数型】と【文脈拡大型】では、II、IIIの割合が高くみられた。このことから、文脈の構造形式と非連続的な関係形式をもつ時間認識には相関があるといえる。なかでも【文脈一致・複数型】は、【文脈拡大型】に比べてIIの割合が比較的多く、肯定的な関係形式のみで構成される時間認識がみられる場合は、文脈を拡大せずに作品の宗教と一致する文脈内で歴史的事象が参照されやすいと考えられる。

次に【文脈一致・複数型】と【文脈拡大型】においてIに属するものは、言及対象の組合せがSUのものが大半を占めており(15/19)、Sに関しては旧、既存建築物に属するものが多数みられる(12/15)。例えばno.152の「新しい客殿は、庫裏のプログラムをそのまま引き離いだ(中略)お寺とは元来、檀家さんの心のより所となる場所(中略)それらに正面から応える」と述べられているように、これらは滅失した建築物や周辺の既存建築物との時間的連続性を踏まえながら、より広く一般的な宗教建築の歴史や伝統に焦点を当てることで、宗教建築のあり方を更新しようと試みているといえる。

さらに、関連する着目内容の分布をみると、【文脈一致・

価値評価	時間的連続性	具体例	言及対象に対する関係形式
肯定	連続	no.14 東京カテドラルマリヤ大聖堂 / 丹下健三 長い歴史をもつカトリック教会建築の伝統を、現代の精神のなかで、現代の技術をもつて、どう発展させていくかということ...	継承 → 231
	非連続	no.48 聖コロバン会本部 / AUR …ステンドグラスを通して入る光に彩られた光に彩られた静寂な祈りの場として、多少カタクンベ(ローマ時代の地下の洞穴聖堂)のイメージを踏襲して設計した。 no.24 成田山新勝寺大本堂 / 吉田五十八 …成田山新勝寺から大本堂の設計の依頼があったので、これを機会に寺院から「組組を開放しなければと考えると、杵組建築から脱却した寺院の設計を決定したわけである。	回帰 ← 196 切断 -// 79

図6. 言及対象に対する関係形式と作品にみられる時間認識

複数型】かつII、IIIに属する資料は、〈実体的内容〉が多い。これは、作品の宗教と同一の文脈に作品を位置付けながらも歴史的事象との連続性をなくした際には、即物的な内容に着目することで、設計の展開を試みていると考えられる。また、【文脈拡大型】のII、IIIにおいては〈構築的内容〉が比較的多い。これは、建築家による宗教の枠を超えた建築的な操作に着目した非宗教的な歴史観を示すものであると考えられる。

また、全資料のなかで複数の資料を設計した建築家があり、建築家の固有の歴史観として、図9において色で明示した。特に、高口恭行氏、横山公男氏、宮崎浩氏、吉田五十八氏といった仏教建築を主に扱う建築家の資料の多くはIIIに分布している一方、教会建築を主として設計した香山壽夫氏、長島孝一氏については、【文脈一致・複数型】や【文脈拡大型】含み、I、IIに分布する肯定的な態度のみで構成されるものが多くみられた。これは、寺院建築が基軸とする日本・東洋建築と、教会建築が基軸とする西洋建築の間には、宗教的伝統の蓄積の違いから現代日本建築家による歴史への解釈の違いがみられ、それらが設計論に表れていると考えられる。

**6. 結** 以上、建築家の創作を通じた歴史観について、宗教建築の設計論を対象に、言及される歴史に関する事象とその着目内容、文脈、時間性を比較検討した。その結果、文脈の構造形式と時間認識の関係性から、文脈の構造形式の複合性と時間認識の連続性の間には関連があることを見出した。このことは、作品を直線的な建築の歴史の変遷に位置付ける思考と、様々な文脈の歴史的事象と複合的に関係性を構築する思考という、西洋建築の受容とともに日本の伝統建築が相対化されてきた近代以降の日本建築家に特有な対極的な歴史観を示していると考えられる。

註1) 鈴木博之『伊東忠太を知っていますか』王国社,2003.04

註2) 国内の建築誌の中で代表的なものひとつと考えられる『新建築』『建築文化』において、1945年以降に掲載された日本で設計された世界宗教に関連する建築作品のうち、設計論に建築の歴史に関する事象(2章で定義)が明確に読み取れた全170作品(仏教104作品、キリスト教66作品)を資料として扱う。なお、世界宗教のうちイスラム教に関する施設はみられなかった。

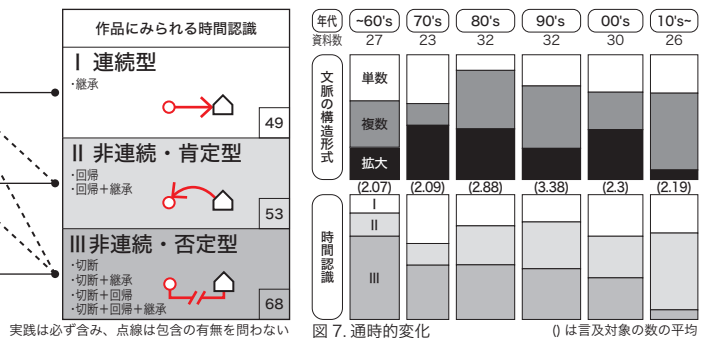


図7. 通時的変化

0) は言及対象の数の平均

実践は必ず含み、点線は包含の有無を問わない

I 連続型	21 東本願寺静岡別院本堂 ○ U AC	61 天龍寺 ○ U -	104 聖アンデレ教会礼拝堂 ● SU B	12 高野山大学松下講堂 ○ SU -
	25 ある寺の庫裡 ○ U CD	144 慈眼山成願寺 ○ SU -	111 聖徒教会 ● SU BC	68 大本山池上本門寺 ○ SU A
	32 北山本門寺大客殿 ○ U AC	150 正願寺 ○ SU -	114 八ヶ岳三位一体修道院 ● SU -	77 大谷大学講堂 ○ SU A
II 非連続・肯定型	34 喜福寺 ○ U C	152 真福寺客殿 ○ SU D	129 天使の聖母トラピズナ修道院 ● SU C	123 平等院宝物館 鳳翔館 ○ SU A
	36 臨南寺本堂 ○ U -	45 鹿兒島城南教会 ● SU -	62 聖アンデレホール ● SU -	146 功德林寺 ○ U -
	38 妙智會新本殿 ○ U B	62 聖アンデレホール ● SU -	4 日蓮宗 妙経寺 ○ RU A	39 大浦教会 ● S A
	40 善光寺別院願王寺 ○ S AC	4 日蓮宗 妙経寺 ○ RU A	31 東淵寺 ○ U -	53 聖アンセルモ折りの家 ● SU -
	46 立正寺 ○ U B	31 東淵寺 ○ U -	41 霊友会釈迦殿 ○ RU A	70 元浦河教会 ● SU -
	49 龍駒寺霊宝館玉薬院収蔵庫 ○ S A	41 霊友会釈迦殿 ○ RU A	55 角田山妙光寺客殿 ○ SU B	130 金沢教会 ● U B
	76 百万遍知恩寺宝物館 ○ S A	55 角田山妙光寺客殿 ○ SU B	60 南蔵院本堂 ○ RS AD	78 西園寺無量寿堂 ○ SU -
	85 専念寺 ○ U AC	60 南蔵院本堂 ○ RS AD	67 妙香院 ○ RSU AB	80 成田山仏教図書館・研究所 ○ RSU AB
	109 清涼山霊源皇寺庫裏 ○ S D	67 妙香院 ○ RSU AB	89 真言宗本福寺水御堂 ○ RU -	90 高野山大学松下講堂 ○ RSU ABD
	117 西園寺本堂 ○ S A	89 真言宗本福寺水御堂 ○ RU -	97 浄土宗臨川山蔵院書院 ○ SU -	100 宝来寺檀信徒会館 ○ U C
III 非連続・否定型	139 西光寺本堂 ○ S D	97 浄土宗臨川山蔵院書院 ○ SU -	102 浄土宗 西光寺 ○ RU -	108 本宮山常妙寺 ○ SU -
	143 永元寺 無坐離庵 ○ U B	102 浄土宗 西光寺 ○ RU -	140 大倉山観音会館 ○ SU -	121 霊宝館・伝法学院 ○ SU -
	147 東大寺総合文化センター ○ S D	140 大倉山観音会館 ○ SU -	145 澄心寺庫裏 ○ SU B	126 称名寺庫裡 ○ U B
	149 佛光山 善音寺 ○ U D	145 澄心寺庫裏 ○ SU B	148 浄土宗 西光寺 ○ RS A	127 梅恋院 ○ U D
	155 光輪山 明善寺 ○ U D	148 浄土宗 西光寺 ○ RS A	157 神勝寺 松堂 ○ U A	131 安養寺阿彌陀如来坐像収蔵施設 ○ S -
	168 本覚寺の森 霊園・観音堂 ○ S C	157 神勝寺 松堂 ○ U A	159 龍泉寺八聖殿 ○ RU D	132 浄土宗麟鳳山九品寺本堂 ○ RU -
	170 本照寺納骨堂 ○ S C	159 龍泉寺八聖殿 ○ RU D	162 築地本願寺境内整備 ○ SU A	161 妙金院 客殿 ○ S -
	14 東京カテドラル ● U B	162 築地本願寺境内整備 ○ SU A	163 松栄山山行寺 ○ SU -	20 新発田カトリック教会 ○ U -
	54 日本バプテスト教会連合 ○ U D	163 松栄山山行寺 ○ SU -	164 宝性院観音堂 ○ RU -	51 在日大韓基督教会東京教会 ● U B
	96 聖高原サレジオの家 ● U BD	164 宝性院観音堂 ○ RU -	7 曹洞宗 本然寺 ○ RU D	72 援助マリア会福山修道院 ● SU B
98 垂水教会 ● U D	7 曹洞宗 本然寺 ○ RU D	13 大石寺“六重” ○ SU B	82 高輪教会 ● SU AB	
136 信濃町教会 ● S D	13 大石寺“六重” ○ SU B	16 前田速念寺 ○ SU B	84 東京 YWCA 会館 ● SU -	
141 仙台基督教会 ● U C	16 前田速念寺 ○ SU B	17 泉寺 ○ SU D	2 立山寺阿彌陀堂 ○ U B	
142 駿府教会 ● U C	17 泉寺 ○ SU D	19 月桂寺本堂 ○ U A	8 太宗寺本堂 ○ U A	
156 聖パウロ礼拝堂改修 ● S BD	19 月桂寺本堂 ○ U A	24 成田山新勝寺大本堂 ○ U -	10 大石寺客殿 ○ SU D	
158 広島牛田教会 ● U B	24 成田山新勝寺大本堂 ○ U -	33 清澄寺御堂 ○ RU D	23 報恩寺+東蔵寺大正院 ○ RSU A	
165 丘の礼拝堂 ● S A	33 清澄寺御堂 ○ RU D	35 講堂寺本堂 ○ SU A	27 自安寺 ○ U D	
5 高松山西来院 ○ U D	35 講堂寺本堂 ○ SU A	42 身延山久遠寺宝蔵 ○ U -	28 満願寺 ○ U -	
66 五井教会 ● S A	42 身延山久遠寺宝蔵 ○ U -	64 専念寺本堂 ○ SU A	44 一心寺日想殿・望無亭 ○ S A	
137 鉄の教会 ● U C	64 専念寺本堂 ○ SU A	73 竹林山光教寺 ○ SU A	50 結界-曹洞宗永正寺 ○ RSU BD	
1 寶光寺 ○ U A	73 竹林山光教寺 ○ SU A	75 江南山清林寺庫裡 ○ SU A	56 高橋山金剛寺五重塔 ○ RSU BD	
3 大石寺宝蔵 ○ U AD	75 江南山清林寺庫裡 ○ SU A	87 円通寺 ○ RSU A	63 一心寺単信館 ○ U B	
6 大石寺・大化城 ○ U A	87 円通寺 ○ RSU A	91 栄照寺 ○ RU A	106 應典院 ○ SU -	
11 小栗栖西方寺 ○ U A	91 栄照寺 ○ RU A	105 一心寺仁王門 ○ RSU AD	118 南岳山光明寺 ○ SU BD	
26 中宮寺 ○ U B	105 一心寺仁王門 ○ RSU AD	116 麟鳳山九品寺山門・納骨堂 ○ RU -	122 日蓮宗法華堂 江東メモリアル ○ U A	
47 雲洞庵佛舎利塔 ○ U AD	116 麟鳳山九品寺山門・納骨堂 ○ RU -	133 浄土宗 長谷院 ○ SU C	124 壬生寺 阿彌陀堂 ○ SU B	
86 小栗栖西方寺 ○ U A	133 浄土宗 長谷院 ○ SU C	153 来迎寺 ○ SU AB	125 稱名寺本堂 ○ U B	
110 信行寺西本堂 ○ U B	153 来迎寺 ○ SU AB	160 梅郷礼拝堂 ○ U -	22 横浜泉ルーテル教会 ● U D	
115 寿光院 釈迦堂 庫裏 書院 ○ U BD	160 梅郷礼拝堂 ○ U -	15 訪問員会館修道院聖堂 ● RU A	59 聖書キリスト教会会堂 ● SU A	
138 清流寺深沢分院 ○ U BCD	15 訪問員会館修道院聖堂 ● RU A	30 長崎聖ピオ教会 ● U A	65 日本基督教会栃木教会 ● U D	
29 横浜カトリックセンター ● U A	30 長崎聖ピオ教会 ● U A	52 聖レゴリオの家 ○ U B	92 山台司教区センター ● SU B	
74 函館千歳教会 ● U AD	52 聖レゴリオの家 ○ U B	57 片瀬カトリック教会信徒会館 ● SU -	94 御殿場教会 ● RSU AB	
99 サレジオ・アズビランテ ● U B	57 片瀬カトリック教会信徒会館 ● SU -	58 基督兄弟団西宮教会 ● SU C	112 聖イグナチ教会 ● RSU AD	
101 東京キリストの教会 ● U BC	58 基督兄弟団西宮教会 ● SU C	71 六甲の教会 ● SU BC	120 ユーカリが丘教会 ● U A	
	71 六甲の教会 ● SU BC	79 礼親新生教会 ● U B		
	79 礼親新生教会 ● U B	81 ドンボスコ記念聖堂 ● RU -		
	81 ドンボスコ記念聖堂 ● RU -	83 東京キリスト教書院礼拝堂 ● RU -		
	83 東京キリスト教書院礼拝堂 ● RU -	107 聖マリアン医科大学聖堂 ● U -		
	107 聖マリアン医科大学聖堂 ● U -	119 V A 関東学院大学 ● RU D		
	119 V A 関東学院大学 ● RU D	151 茅ヶ崎シオンキリスト教会 ● U CD		

ア no.14 東京カテドラル聖マリア大聖堂 丹下健三+都市建築研究所

長い歴史をもつカトリック教会建築の伝統を、現代の精神のなかで、現代の技術をもって、どう発長させていくかということ。同時に人間のスケールをもって周囲の家並みに溶けこんでいた…市民はまず迷路から広場へ導かれ、そうして教会へと、…その時代の最高の構造技術を駆使して、こうした小宇宙を実現させる…

イ no.3 大石寺宝蔵 合作社 横山公男

この主張がこの建物の使用者であり、同時に建築主であるところの信徒大衆の宗教的感情を無視した一方的な主張であってはならないでしょう。様式主義が否定されるべきものであることは、われわれ建築を創る側にあつては今更言うまでもない自明のことではありますが、…建築的には従来の仏教寺院の形態そのままのものに密接に結び付いている…

ウ no.129 天使の聖母トラピズナ修道院 旅人の聖堂 香山壽夫建築研究所

この台も、そしてまた「シツクの祭壇」と入口内壁に付された…ロマネスクの過剰な装飾の中に溶れていたベネディクト会から離れて、厳格な親観生活の中から「スト一様式」と呼ばれる独自の建築を生み出したのである。その精神は変わらずここに受け継がれている。…「ルマンディーのシト一修道院」での生活が、この今につながっていることに、…

凡例

作品名 宗教 ○: 仏教 ●: キリスト教

118 南岳山光明寺 ○ SU BD

資料 No. 関連性のある着目内容

言及対象の組合せ

R: 宗教 S: 特定の建築 U: 不特定の建築

A: 実体的内容 B: 構造的な内容 C: 体験的内容 D: 意味的内容

類出する建築家 内井昭蔵 : 6作品 香山壽夫 : 8作品 横山公男 : 5作品 高口恭行 : 7作品 宮崎浩 : 4作品 長島孝一 : 7作品 吉田五十八 : 3作品

エ no.43 東京 YWCA 野辺山高原センター 内井昭蔵建築設計事務所

中世の寺院においては空間はそれぞれ特有の意味をもっていた。…私がまず第1に考えたのはこの空間の意味性の獲得であった。…「シツク」のように天に向かっただけでも高い空間がほしいかった。…この Y 字型の壁柱は YWCA の Y を象徴させ、…YWCA のシンボルである逆三角形も、この建築の共通のシンボルとして各所に展開している。

オ no.24 成田山新勝寺大本堂 吉田五十八

寺院はいわゆる「研組建築」で、千数百年前の法隆寺の時代の型から、1歩も出ていないのである。…これを機会に寺院から研組を開放しなければと考えて、…しかし「寺院」というものは、信仰の対称である建物である以上、信徒の頭の中にある。いわゆる昔ながらの寺院の影を破壊しないよう、その範囲内においてできる限りの改変をしつつありである。…

カ no.72 援助マリア会福山修道院 長島孝一+AUR

カトリックの聖堂は…ソリッドな素材で切り取り囲んだ上で、光の採り入れ方を工夫してその空間を演出してきている…小壁から下は…木を用い…日本的な空間をつくらせている。…平等院の仏像のお顔が、池の向う側から見ると格子にうがれた州屋型の穴から見るとここにヒートを得た…聖堂の空間の上半分は RCによる西歐的空間の要素が支配し…

キ no.44 一心寺信徒会館日想殿・庫裏望無亭 高口恭行+近畿建築構造研究所

一心寺に伝わるさまざまな由緒一寺伝のうち、…関係者全員のイメージの原点となった…それ以前の仮設庫裡を改体して、この材木をすっかり使ってつくられたものがあるが、…伝・小堀遠州作になる入窓の茶廂を復元して抱き込んでみた…そうした体験を保存するという発想は…自分でそのことに直面して見て、何かに自信のなさを感じる…

図 8. 建築家の創作を通した歴史観